

内藤記念くすり博物館

水と森が豊かな川島工園内に立地

森と水が豊かなエーザイの川島工園の一角に、医薬の歴史文化を伝える「内藤記念くすり博物館」がある。医薬の史資料を収蔵した博物館のほか、医

岐阜県各務原市の木曽川の清流に囲まれた中州に川島工園はある。エーザイの創業者、内藤豊次氏によって水と森に融和した生産と研究の拠点を目指し、1996年に開所した。アリセプト、ワーファリン、パリエット、セルベックスなどの医療用医薬品の生産を行っており、生産品目数は25品目、54剤形、162包種に及ぶ。さらに製剤や分析、安全性の研究も行われている。

敷地面積47万㎡、緑化率は約50%で、工場排水を浄化した水が注ぐ日本庭園も備えるなど、工園は四季折々の姿を見せる。まさしく、インダストリアルパーク（公園工場）という名がふさわしい生産拠点だ。浄化された水は木曽川に放流するなど環境面にも注力しているのも特徴の1つ。

そのような川島工園の一角に、6万5000点にも及ぶ収蔵資料を保有する内藤記念くすり博物館がある。内藤豊次氏は「薬学・薬業の発展を伝える貴重な史資料が散逸しては後生に悔いを残す恐れがある」との思いで、71年に博物館を開設した。

年間4万人以上が訪れ、開館以来、来館者は延べ110万人を突破した。

6万5000点のうち、展示されている史資料は1割にも満たないが、テーマを設けた特別



薬にまつわる置物や掛け軸なども展示している。写真右側は白沢で、6本の角と9個の目を持ち、病魔除けや旅の守り神とされた

学・薬学を中心とした図書館、薬用植物園があり、いずれも一般に無料公開されている。



人車製薬機。大きな輪の中に入った2人が足踏みすることで、歯車が連動して石臼が廻り薬草を粉にする

展などを利用して、常設展ではお目にかかれない史資料も随時、一般に公開するなど工夫も凝らしている。

常設展では、薬に関係する置物や掛け軸のほか、明治中期ごろの薬屋の店先を原寸大で再現した大がかりな展示物や、昔の薬の名前が表記された看板や売薬の歴史などに触れることができる。

現在開催中の特別展（10年3月28日まで）は、「江戸に学ぶ からだと養生」がテーマ。オランダから伝わってきた最新の医学・薬学が、江戸時代の人々にどのように活用されてきたのかを、当時の資料を振り返りながら紹介するというもの。国内でも現存数が限られている「解体新書」、日本最初の解剖図、全身麻酔を行って乳癌手術を行った華岡青洲の手技を、塾生が書き写した絵図などが展示されている。

江戸時代あたりから広まった養生についても、貝原益軒の養生訓を紹介し、現代の世の中でもうなずける養生法も解説している。

05年には図書館が竣工し、医薬に関する図書を基本に収集を行い、江戸時代の和装本を含む6万2000点の図書を収蔵。学術関係者や専門家も利用する知識の宝庫にもなっている。

博物館前の約1万㎡の敷地には薬用植物園があり、約600種類の薬草・薬木、温室があり、自然に触れながら薬



緑と水が豊かなエーザイの川島工園の一角に内藤記念くすり博物館がある

について学ぶこともできる。地域にも開かれている薬草園は、ボランティアの手によって整備もされている。イベントも定期的に行い、地域の交流の場にもなっている。

開館時間は午前9時から午後4時30分。休館日は月曜日と年末年始。入場料は無料。事前に予約すれば工場も見学できる。

特別展「江戸に学ぶからだと養生」では解体新書の展示も



薬屋の店先も実物大で展示



マツモトキヨシ

人が創る、マツモトキヨシ。

薬剤師(新卒・中途)募集中!

株式会社マツモトキヨシ
〒270-8501 千葉県松戸市新松戸東9-1
問合先:人事部採用課
学生専用フリーダイヤル **0120-047-300**
<http://www.r-matsukiyo.com/>

